









令和4年度企業版ふるさと納税活用事業実績

<p>事業名</p>	<p>ひとづくりを軸とした持続可能な地域づくりプロジェクト (ひとづくり推進事業、市内高校連携推進事業)</p>
<p>取組内容</p>	<p><b>【ひとづくり推進事業】</b>  <b>①益田版カタリ場</b>          小学生と高校生、中学生と大人による1対1の対話を通して、「これまでの人生と、これからどうありたいか」自分自身の生き方について考えることで、自分の「心に火を灯す」授業を実施した。</p> <p><b>②高校生期のライフキャリア教育（教育魅力化コーディネーターの配置）</b>          高校と地域・企業・行政をつなぐコーディネーターを配置し、高校生の学校外での活動づくりを実施した。</p> <p><b>③JFAこころのプロジェクト「夢の教室」</b>          日本サッカー協会に所属する元アスリートや現役アスリートが自分の夢を実現するためにどんな事をしたか、また挫折や悩んだ時にどのようにその苦勞を乗り越えたかについて、オンラインを通じて小学生に伝える授業を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">【益田版カタリ場】                      【夢の教室】</p> <p><b>【市内高校連携推進事業】</b>          ※詳細は、益田市・まち・ひと・しごと創生推進事業へ記載</p>
<p>成果</p>	<p><b>【ひとづくり推進事業】</b>          ○「益田市には魅力的な大人が多い」と答えた新成人の割合          目標：80% / 実績：93.5%          ○益田市で地域活動をした県外の若者の延べ人数と満足度          目標：260人、80% / 実績：64人、80.0%          ○「将来、益田に住みたい」と答えた新成人の割合          目標：80% / 実績：80.9%          ○益田市で一週間程度、インターンシップや体験活動した若者の延べ人数と満足度          目標：30人、80% / 21人、100%          ○ライフキャリア教育に関わる大人の数          目標：700人 / 実績3,972人          ○ライフキャリア教育に関わる市外の若者の数          目標：3人 / 実績：7人</p> <p>○その他、事業実績（定量的効果。（ ）内は前年度実績）。</p> <p><b>①益田版カタリ場</b>          ・15（15）小学校、9（8）中学校、4（4）高校で実施          ・対話した延べ人数 1,502人（1,468人）</p> <p><b>②高校生期のライフキャリア教育（教育魅力化コーディネーターの配置）</b>          ・各校での授業実施コマ数 182（83）コマ          ・高校生の地域活動の伴走支援 25（43）プロジェクト</p> <p><b>③JFAこころのプロジェクト「夢の教室」</b>          ・実施校 9（10）校          ・児童数 272（257）名</p> <p><b>【市内高校連携推進事業】</b>          ※詳細は、益田市・まち・ひと・しごと創生推進事業へ記載</p>
<p>今後の事業展開</p>	<p>成果に記載している量的な指標はおおむね増加傾向にある。今後は、量的な指標は達成しつつも、事業の実施がいかに子どもたちの生きる力の育成や、人材の還流、持続可能な地域づくりにつながったかという点に着目し、事業展開及び効果測定を図りたい。</p>

令和4年度企業版ふるさと納税活用事業実績

<p>事業名</p>	<p>ひとづくりを軸とした持続可能な地域づくりプロジェクト (小規模校合同学習実施事業)</p>
<p>取組内容</p>	<p>【小規模校合同スポーツ交流会】 小規模校6校合同のスポーツ交流会を開催し、多人数が必要なスポーツ（サッカー、バスケットボール）を経験した。</p>  <p>【小規模オンライン交流】 小規模6校で、オンラインを活用した交流学习や授業を実施し、互いの成果を確認しあったり、様々な意見を聞き考える活動を体験した。 (縄跳び大会、総合的な学習の時間の発信を相互に行う、外部に対する学習活動の発信)</p> 
<p>成果</p>	<p>小規模校では体験が難しいスポーツを通して、競い合う気持ちや励ましあう気持ちを持ち、人間関係を広めることができた。 また、オンライン交流や合同合宿体験など、小規模校ではなかなか体験できない集団での活動により、自尊感情を高めることができ、積極的に他者と関わろうとしていた。 全国学力・学習状況調査における「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦していますか」の問いの肯定的回答は70.6%であった。</p>
<p>今後の事業展開</p>	<p>本事業により購入したICT機器を活用した交流やスポーツ交流会を継続して行い、小規模6校の児童の自尊感情や挑戦する気持ちを高めるとともに、学びに向かう子どもを育成する。 また、全国学力・学習状況調査における「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦していますか」の問いの肯定的回答を増やすことを目標に、サッカー交流会、バスケットボール交流会、各学校ごとに計画したミニ交流学习会などを予定している。</p>

令和4年度企業版ふるさと納税活用事業実績

<p>事業名</p>	<p>益田市・まち・ひと・しごと創生推進事業 (観光誘客支援事業) 石見神楽を活用した観光振興及び次世代育成プロジェクト</p>
<p>取組内容</p>	<p>【目的】 石見神楽を活用したまちづくりを推進するため、既存の枠組みに囚われず、益田独自の「益田神楽」ブランドの創出と石見神楽を活用した観光振興及び次世代育成プログラムを実施すると共に、これらの取組をパッケージとして、継続的に取組む事業体の構築を目指す。</p> <p>【事業期間】 令和3年度から令和5年度の各年度で事業の実施を行う。</p> <p>[令和4年度取組内容]</p> <p>○石見神楽による観光・産業振興策の実施</p> <p>(1) 石見神楽のファンを増やすため市外、県外公演の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8/21 北九州公演 来場者数：320名</li> <li>・12/30～1/1 (3日間5公演) 東京公演 来場者数：約1,300名</li> </ul>  <p style="text-align: center;">東京公演の様子</p> <p>(2) 新しい観光・体験コンテンツの創出</p> <p>①神楽社中体験 各社中が同じプログラムをお客様に提供できるように10月にマニュアルを作成。それを基に社中体験を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11/13 道川神楽社中</li> <li>・2/19 高津神楽社中</li> </ul> <p>②公演バックヤードツアー 神楽社中体験と同様に2月にマニュアルを作成。それを基に公演バックヤードツアーを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2/18 津田神楽社中</li> </ul> <p>③夜神楽益田公演の魅力化 「誰もが楽しめる石見神楽」を目的にユニバーサルコンテンツの造成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12/3視覚障がい者、聴覚障がい者向けの鑑賞体験を実施</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">衣装を着た体験                      視覚・聴覚障がい者向け神楽鑑賞会</p> <p>(3) 石見神楽をモチーフとした商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神楽verゆずっこ (令和4年度累計売上数 308本)</li> <li>・神楽ステッカー 4種類 (令和4年度累計売上数 77枚)</li> <li>・トントン神楽 (令和4年度累計売上数 0枚)</li> <li>・『魂神楽』DVD (令和4年度累計売上数 5枚)</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">神楽verゆずっこ                      神楽ステッカー                      トントン神楽</p>

○石見神楽を活用した次世代育成プログラムの実施

(1) 小さな子どもでも石見神楽を楽しめるプログラム

石見神楽に興味のある高校生4名による「石見神楽サークル」が主体的に作成した塗り絵コンテンツを32の施設に配布。344名の子供たちが塗り絵に参加し、5/16-22にキヌヤ益田SCにて展示会を行った。



神楽塗り絵



保育園での塗り絵の様子

(2) 中高生を対象としたプログラム

- ・石見神楽好きの高校生で石見神楽サークルを結成。
- ・3/11中高生向けイベントの開催（20名の参加）  
「地域に根ざす伝統芸能を体験！石見神楽を守り続ける理由とは！？」

(3) 社会人を対象としたプログラムの実施

- ・12/16益田市内の企業の新入社員の同期会  
「MASUDA no Douki」で石見神楽を題材とした社会教育プログラムを実施



石見神楽サークル



MASUDA no Douki

地域に根ざす伝統芸能を体験！  
石見神楽を守り続ける理由とは？

「石見神楽の衣装を触ってみたい」「実際に舞うのはハードルが高いけれど、他の形で神楽に関わってみたい」そんなあなたにおススメTATSUZINとして、石見神楽で益田を盛り上げようと活動しているMASUDA カラゴの藤原政志さんと神田惟佑さんをお迎えします。石見神楽を実際に体験しながら、石見神楽に熱中している理由などをTATSUZINに聞けちゃいます！一緒に石見神楽を盛り上げてみませんか？

#石見神楽 #地域 #伝統芸能  
定員：20名  
持ち物：動きやすい服装(体操服)  
飲み物、筆記用具

藤原政志さん  
神田惟佑さん

中高生向けイベント募集

(4) 石見神楽に関する機運醸成イベントの実施

- ・5/15~5/22  
MASUDA石見神楽WEEKを実施



道中神楽ウォーク



石見神楽見守り隊



石見神楽衣装展示

(5) 石見神楽の担い手になるためのガイドブックの作成

- ・2/28 担い手ガイドブック完成

○自立し継続的に取組める推進体制の構築

- ・令和5年度に一般社団法人を設立

成果

○観光入込客数

【令和3年度】	目標：786,000人	実績：645,179人
【令和4年度】	目標：960,000人	実績：645,861人
【令和5年度】	目標：990,000人	実績：

今後の事業展開

- ①令和6年度以降に独自で運営できるよう、一般社団法人の設立予定
- ②R4年度実施した内容を分析・検証・検討を行い、令和6年度以降を見据え、引き続きプロジェクトを推進する。

令和4年度企業版ふるさと納税活用事業実績

<p>事業名</p>	<p>益田市・まち・ひと・しごと創生推進事業 (益田市版「ツナガル」事業)</p>
<p>取組内容</p>	<p><b>【事業概要】</b>          県外の大学等に進学後、就職活動が始まるまでの間、地元とのつながりが希薄になり、Uターン就職への関心や情報量が低下していることから、訴求力のある情報の発信やプログラムなどの活動機会の提供等により、学生の市内就職を促進する取組を経年的（令和4年度～令和7年度）に実施する事業である。          令和4年度では、下記の①～③の事業を実施した。</p> <p><b>①オンラインでつながる事業</b>          益田出身者との繋がりを作り、SNS（LINE公式アカウント「ますだより」）を活用したコミュニティづくりと、益田市を楽しむイベント・催し物等の情報発信、益田暮らしを楽しんでいる人のリアルな暮らしの紹介、おたすけ情報（交通費補助等）の発信を行う事業</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="384 869 992 1729"> <p>「益田ってつまらない」って思っていませんか!?</p> <p>益田の楽しみ方が広がる素敵な情報を LINE アカウント ますだよりでお届けします!</p> <p>発信内容① 益田を楽しむイベント・催し物の情報 益田市全域から各地区の小さなお祭りまで</p> <p>発信内容② 益田暮らしを楽しんでいる人のリアルな暮らし</p> <p>発信内容③ お助け情報</p> <p>LINE アカウント ますだよりへの登録方法</p> <p>Step 1 Googleフォームで利用登録</p> <p>Step 2 LINE のチャットで「氏名」を送る</p> <p>周知用チラシ</p> </div> <div data-bbox="1018 869 1417 1729"> <p>インターンシップのモニター募集記事</p> <p>市内イベント情報</p> </div> </div>

## ②ひとづくりでつながる（つながり続ける）事業

益田市出身者と繋がり続け、関係性を薄れさせないことを目的とし、帰省時等に参加及び参画できる、益田市の地域や企業を切り口とした多面的な現地情報を体感出来る益田版インターンシップ（就業体験・ライフキャリア体験）プログラムの作成支援、インターンシップの運営支援（集客・広報・運営・伴走サポート）を行う事業

【益田版インターンシップ制度の導入】

益田版インターンシップは、企業や団体での就業体験だけでなくライフキャリア体験（生活体験・先輩社員との交流等）も同時に体験できるプログラム



ガイダンス



座談会



インターンシップモニター



ライフキャリア体験

## 取組内容

## ③東京・大阪拠点でつながる事業

ライフキャリア教育により培った経験や県外で得た知識等を活かせる場、また故郷の様々な情報を得ることができる場として東京・大阪拠点を開設

【拠点概要】

拠点	拠点地名称	基本情報	拠点の運営	事業内容（予定）
関西 （大阪）	MASDA BACKS （マスダー バックス）	営業：月曜～土曜 10時～17時 利用料金：無料（益田市出身者のみ） 電話：080-3348-0742 住所：大阪市中央区大手通1-4-1  【R4委託先】 特定非営利活動法人志塾フリースクール	常設拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・U・Iターナー者相談支援</li> <li>・益田市の企業情報等の閲覧</li> <li>・益田出身者同士の交流イベントの実施</li> <li>・履修登録支援</li> <li>・就労支援業務</li> <li>・食事支援などの生活支援</li> <li>・不要になった家具や家電のマッチング</li> <li>・益田市特産品の販売 など</li> </ul>
関東 （東京）	座・カモル志學亭 座・カモルマルシェ プロダクトスタジオ III  プロダクトラボ	東京都豊島区巣鴨  ※大正大学から巣鴨駅までの間に左記の4ヶ所の拠点施設有り  【R4委託先】 学校法人 大正大学	スポット拠点  1) 拠点利用予約制 2) 益田週間の設定による対応 3) イベント型対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流イベントの開催 ますだのひと交流会（大学生×高校生） （益田版カタリ場との連動）</li> <li>・交流拠点化 高校生×大学生の体験交流（高校生が東京でキャリアを考える）</li> <li>・交流週間の開設 など</li> </ul> <p>※イベント等の実施内容に応じて、左記、拠点地から利用施設を選定</p>

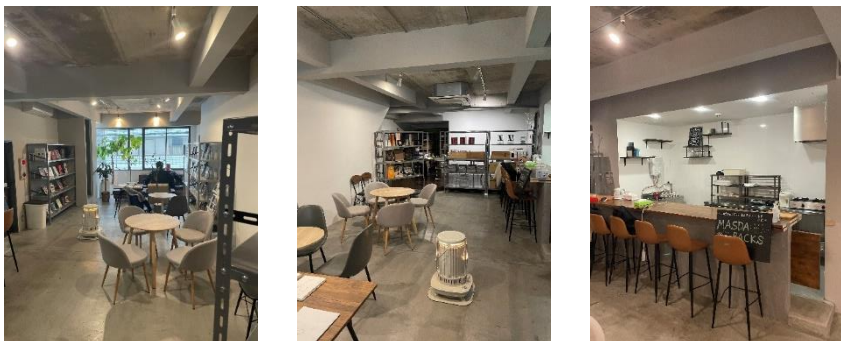
成果	<p>上記①～③の事業における成果目標と実績値</p> <p>①情報（氏名、進学先大学等の名称、学年、連絡先等）を把握している卒業生の数（目標値）520名（実績値）140名 【参考】 ※R5.3.31現在</p> <table border="1" data-bbox="389 333 1409 528"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>高校3年生</th> <th>高校2年生</th> <th>高校1年生</th> <th>学生・社会人等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒総数</td> <td>516名</td> <td>459名</td> <td>505名</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>140名</td> <td>90名</td> <td>56名</td> <td>258名</td> </tr> <tr> <td>登録者割合</td> <td>27.1%</td> <td>19.6%</td> <td>11.1%</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>②イベント等に参加した人数（満足度（%））・・・大学生等 目標値：30名（80%） 実績値：8名（85.8%） 【参考】 ・夏のインターンシップ受入プログラム（市内8社参加、受入数5名） ・春のインターンシップ受入プログラム（市内3社参加、受入数3名）</p> <p>③イベント等に参加した人数（満足度（%））・・・高校生、大学生等 目標値：42名（80%） 実績値：20名（50%） 【参考】 ○2/14（火）東京拠点（大正大学）イベント 益田会場：8名（市内高校生4名、市外高校生4名：オンライン） 東京会場：10名（大正大学生7名、社会人3名） ○3/25（土）大阪拠点（MASDA BACKS）イベント オンライン参加 2名（市外高校生）</p>	区分	高校3年生	高校2年生	高校1年生	学生・社会人等	生徒総数	516名	459名	505名	—	登録者数	140名	90名	56名	258名	登録者割合	27.1%	19.6%	11.1%	—
	区分	高校3年生	高校2年生	高校1年生	学生・社会人等																
生徒総数	516名	459名	505名	—																	
登録者数	140名	90名	56名	258名																	
登録者割合	27.1%	19.6%	11.1%	—																	
今後の事業展開	<p>①オンラインでつながる事業について ・「ますだより」の登録について、各学校や各進路先等によって周知すべき時期が異なるため、実態に合わせて周知を行う。 ・周知について、3年生から始めるのではなく、高校1・2年生の早い段階から周知を実施する。 ・登録したメリットを感じられる魅力的なコンテンツを学生の意見等も取り入れて掲載する。 ・事業対象者以外にも「ますだより」を周知することで、横のつながりからの登録を促進する。</p> <p>②ひとつづくりでつながる（つながり続ける）事業について ・大学生等の採用に向けて積極的な企業の掘り起すことが出来たことから、継続して取組を進める。 ・企業での受入実績が少なく、プログラムの内容がワーク体験が主体となり、学生にとって魅力を感じにくい内容となっていたことから、令和4年度に実施したモニター調査を継続的に実施して受入実績を増やし、プログラム内容のブラッシュアップを行う。 ・情報発信方法として、ジョブカフェの利用だけでなく、近隣大学等への訪問による情報提供や「ますだより」等による情報発信を実施する。</p> <p>③東京・大阪拠点でつながる事業について ・大阪拠点（常設拠点） U・Iターン者相談支援、企業情報等の閲覧、交流イベントの開催、履修登録支援、就労支援業務、食事支援などの生活支援、不要になった家具や家電のマッチング、特産品の販売などを実施予定 ・東京拠点（スポット拠点） 交流イベントの開催、交流場所の拠点化、交流週間の開設などを実施予定</p>																				

## 益田市版「ツナガル」事業 県外（大阪）拠点

【拠点名称】

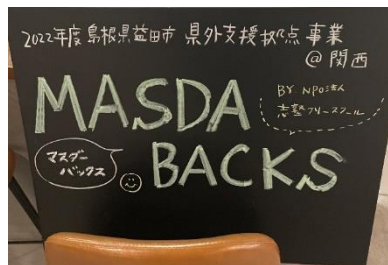
### MASDA BACKS

オープン：月曜～土曜 10時～17時  
料 金：無料（益田市出身者のみ）  
電 話：



MASDA BACKSでは  
こんなことが出来ます

- ・U・Iターン相談
- ・益田市の企業情報等の閲覧
- ・益田出身者同士の交流イベントの実施
- ・履歴登録支援
- ・食事支援などの生活支援
- ・不要になった家具や家電のマッチング
- ・益田市特産品の販売



など



（住所）  
大阪府大阪市中央区大手通1-4-1

（最寄り駅）  
大阪メトロ谷町線天満橋駅 徒歩4分  
京阪本線天満橋駅 徒歩5分  
大阪メトロ谷町線谷町四丁目駅 徒歩5分

（問い合わせ）  
島根県益田市教育委員会協働のひとづくり推進課/TEL：0856-31-0622

## 益田市版「ツナガル」事業 県外（東京）拠点

【拠点】

### 大正大学所有物件

（平成29年7月20日 連携協力に関する協定調印）

【ポイント①～拠点編～】

- ・拠点として提示を受けた場所は以下の4か所※すべて、地藏通り商店街内
- ・イベント等の実施内容に応じて、都度、利用施設を選定
- ・地域創生学部内では実習地の情報発信を既の実施

【ポイント②～運営編～】

- ・拠点の運営は実習で益田を訪れた学生が中心
- ・その他、都内の関係人口の利活用も可能
- ・出身者のみならず、益田市に関わる人が集い・つながる場を創出



【商店街の様子】  
毎月4のつく日は縁日を開催。  
8万人の来場有り。



（住所）  
東京都豊島区巢鴨



（最寄り駅）  
JR山手線巢鴨駅  
都営三田線西巢鴨駅

（問い合わせ）  
島根県益田市教育委員会協働のひとづくり推進課/TEL：0856-31-0622



※大正大学から巢鴨駅までの間に上記写真の4か所の拠点施設有り。





令和4年度企業版ふるさと納税活用事業実績

<p>事業名</p>	<p>益田市・まち・ひと・しごと創生推進事業 (理数系人材育成協働事業費(松江高専))</p>
<p>取組内容</p>	<p>【松江高専による工作教室の開催】 市内小中学生の理数系への関心を高める取り組みとして開催した。 7月16日 5講座開催(ロボット作成等) 26名参加 9月 3日 3講座開催(プログラミング等) 29名参加 12月10日 3講座開催(ゴム鉄砲作成等) 19名参加</p>  <p>【松江高専見学会の開催】 8月12日 市内小中学生等12名参加(内保護者6名) 学校見学、科学教室等をつうじてものづくりの楽しさを体験。</p> <p>【高専生との意見交換会】 8月12日 本市出身学生15名と意見交換。</p> <p>【インターンシップの受入れ】 高専生9名が市内企業5社のインターンシップに参加した。</p> <p>【企業との交流】 9月2日 市内企業との技術相談会を実施し、8社参加。</p> 
<p>成果</p>	<p>【工作教室】 一部講座では定員より多くの申し込みがあり、抽選となるなど、多くの児童生徒の参加があった。高専学生との交流も含め、工作教室を通して、理数系への興味関心を高める機会となった。 7月、9月、12月 3回開催 参加者数のべ74人 (数値目標：工作教室等参加者数のべ60人)</p> <p>【企業との交流】 インターンシップの受け入れや、市内企業との技術相談会を実施した。 インターンシップ受入企業数 5社 技術相談会実施事業数 8社 (数値目標：連携企業数7社)</p>
<p>今後の事業展開</p>	<p>引き続き工作教室の開催を中心に、市内小中学生の理数系への関心を高める取組みを進めるとともに、高専生とのつながりを深める取組みとして、学校教育課と連携し算数数学パワーアップ教室にも参加することとしている。 本市出身学生を含め、市内就職促進につながる、インターンシップの受入れについても市内企業と連携し取り組んでいきたい。</p>

令和4年度企業版ふるさと納税活用事業実績

<p>事業名</p>	<p>ひとづくりを軸とした持続可能な地域づくりプロジェクト (理系人材育成共同事業〈島根大学〉)</p>
<p>取組内容</p>	<p>【算数・数学パワーアップ教室】            夏季休業：8月15日(月)～8月19日(金) 5日間                市民学習センター(8/15～8/17)                環境改善センター・安田公民館(8/18～8/19)            冬季休業：12月25日(日)～12月27日(火) 3日間                市民学習センター(12/25～12/27)                豊田公民館(12/26～12/27)            学年末休業：3月27日(月)～3月29日(水) 3日間                市民学習センター(3/27～3/29)                中西公民館(3/28～3/29)            年11日間、市内各所において小学校4年生から中学校3年生の希望者を集めて、島根大学の学生を講師に迎え、算数・数学パワーアップ教室を行った。各長期休業中の宿題や教育委員会で用意した算数・数学プリントを、大学生に教わりながら解いていった。大学生の企画した活動を通して交流も図られた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>成果</p>	<p>一人では解決できない課題に対して、大学生の力を借りながら意欲的に算数・数学の問題に向かう姿が多く見られた。算数・数学パワーアップ教室に参加する前より、算数・数学が好きになった児童生徒の割合は毎回90%を超えた。また、休憩時間に大学生に触れ合ったり、大学生が企画した活動に参加したりしながら、大学生を身近に感じ、児童生徒の進路選択の幅を広げる一助ともなった。「算数・数学パワーアップ教室」実施後の児童生徒アンケートにおいて、「難しい問題にもチャレンジしたい気持ちが、参加する前よりも強くなった」の肯定的回答が93%となった。</p>
<p>今後の事業展開</p>	<p>今年度も引き続き、長期休業中に計11回(夏季休業、冬季休業、学年末休業)行う。今年度は、今まで実施していない地区(小野地区・鎌手地区)でも実施予定である。また、協働のひとづくり推進課と連携し、児童生徒に「秦佐八郎」の学習も計画している。</p>

## 令和4年度企業版ふるさと納税活用事業実績

事業名	<p>益田市・まち・ひと・しごと創生推進事業 (市内高校連携推進事業)</p>
取組内容	<p><b>【市内4高校の特色を活かした高校魅力化の取組】</b></p> <p><b>①高度理数系人材育成支援業務委託</b>            1) 「益高の学び体験」(中学生による益田高校での継続的な授業体験)            2) 理数系教育充実(益田高校実験室開放)</p> <p><b>②農業・モノづくり人材育成業務委託</b>            1) GAP米(田植え・稲刈り)体験など「産業の魅力発信」            2) 「地産・地消の推進」を目的とした販売活動など            3) QQ栽培による検証実験(土壌分析)など「地域連携による技術実証及び技術活用」            4) 食品加工工場見学など「体験・交流による地元就職意識向上の取組」</p> <p><b>③私立高等学校魅力化活動補助金</b>            益田市の私立高校には、約250名の県外生が在籍している。県外生を含む高校魅力化に資する下記事業を実施することで、卒業後も第2のふるさととして益田市と関わり続ける人材(関係人口)の確保につながった。</p> <p>(益田東高等学校)            eスポーツ部創設を目的とした施設及び関係機器整備。            その他、認知度向上を目的とした以下の取組の実施。            1) 益田東高等学校文化祭において「eスポーツ大会」の開催            開催日：令和4年9月30日(金)            2) 「益田東eスポーツDAY」の開催            開催日：令和5年1月22日(日)            内容：            ・全国高等学校eスポーツ連盟理事による「eスポーツの魅力」についての講和            ・小学生の部の開催(午前)/中学生の部の開催(午後)</p> <p>(明誠高等学校)            ・益田市出身のデザイナー及び地域プロジェクトプランナーと協働し、益田市の食と文化の記録と発信を目的とした「まちと食卓vol2.5」を制作した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>【①関連_益高の学び体験】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【②関連_はじめての菜園生活】</p> </div> </div>

	<p><b>【市内4高校の魅力を小中学生に発信する取組】</b>  <b>①益田未来協働フェスタ2022の開催</b>      令和4年7月8日（金）      ・市内4高校魅力発信ブース・サイエンス工房      ・小学生サイエンスショー      令和4年7月9日（土）      ・科学ポスター      ・中高校生科学チャレンジ      ・数田ひかる氏講演会</p>
<p>成果</p>	<p><b>【市内4高校の特色を活かした高校魅力化の取組】</b>  <b>①高度理数系人材育成支援業務委託</b>      参加者：      1) 中学3年生133名（うち、市外23名）      2) 0人</p> <p><b>②農業・モノづくり人材育成業務委託</b>      参加者：      1) 翔陽高校生100名／小中高生127名／ほか教員等12名      2) 翔陽高校生14名      3) 翔陽高校生88名／小中高生22名      4) 翔陽高校生62名／ほか教員等1名</p> <p><b>③私立高等学校魅力化活動補助金</b>      （益田東高等学校）      1) 文化祭において「eスポーツ大会」の開催      参加者：      26名（1年生9名、2年生6名、3年生10名、教員1名、うち、県外生9名）      認知度向上・部員の拡大：12人 → 13人      2) 「益田東eスポーツDAY」の開催      参加者：77名（小学生60名、中学生17名）      （明誠高等学校）      制作部数：1,500部      制作に関わった生徒数：29名（うち、県外生6名）</p> <p><b>【市内4高校の魅力を小中学生に発信する取組】</b>      参加者：約1,000名（小学生276名、中学生12名、高校生624名）</p>
<p>今後の事業展開</p>	<p>小中一貫教育に接続する取組の一つとし、引き続き、市内の高校の魅力化に資する取組に支援を行うとともに、その取組を小中学生に発信することで、全ての子どもたちの卒業後の選択しを増やし、益田の未来を担う子どもたちの育成を図る。</p>